

News Release

2022年1月13日
株式会社日本政策投資銀行

危機対応業務の実績について

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、2008年10月1日より政府の指定金融機関として危機対応業務を開始しており、内外の金融秩序の混乱、大規模な災害等の事案に対処する資金の供給等を行っております。

2020年3月19日付で危機認定された「新型コロナウイルス感染症に関する事案」に関する、2021年12月末時点の危機対応業務の実績は、以下の通りです。

（新型コロナウイルス感染症に関する事案）

	2021年12月実績		（参考）2021年12月末時点 累計実績	
融資額	195億円	(14件)	24,493億円	(464件)
うち、中堅・大企業向け	189億円	(10件)	24,267億円	(316件)
うち、2021年3月29日以降に実施した中堅企業及び飲食・宿泊業等の大企業向け（※1,2）	189億円	(10件)	2,082億円	(83件)
損害担保	66億円	(7件)	3,029億円	(194件)
うち、中堅・大企業向け	61億円	(3件)	2,805億円	(48件)
うち、2021年3月29日以降に実施した中堅企業及び飲食・宿泊業等の大企業向け（※1,2）	61億円	(3件)	1,505億円	(47件)
（参考） 地域緊急対策プログラムの融資額（※3）	146億円	(5件)	1,522億円	(98件)

※1：DBJは、政府からの要請を受け、特に深刻な影響を受けている飲食・宿泊等をはじめとする事業者の皆様に対して重点的に、緊急的な支援策を同日より開始しました。

※2：2021年3月31日に組成した「DBJ飲食・宿泊支援ファンド投資事業有限責任組合」が引き受けた優先株式の累計実績は435億円（8件）です。

※3：地域緊急対策プログラムとは、大規模災害等の発生時において、危機対応業務では対応出来ない資金需要に対して資金供給を行う、危機対応業務を補完する当行独自の融資プログラムです。

DBJは、危機対応業務等を通じて、機動的かつ効果的な資金供給を行うことにより、今後とも企業の資金ニーズに的確に対応してまいります。

【お問い合わせ先】

経営企画部 広報室 電話番号03-3244-1180